



鹿庭江里子 写真展

感じるフォトグラフィア

vision/sound/touch/scent/taste



築80余年、廃墟系建築物

九段下テラス

2008.12.6 (sat) 14:00 open 21:00 close

入場料 1,000円

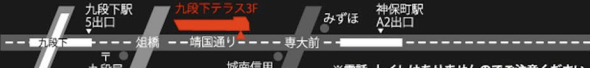
19:00~20:00 アーティスト・トーク

* インナージャーニー・フォトセッション体験

10:00~/11:00~/12:00~

各45分 10,000円 (事前予約 lovingart@hotmail.co.jp)

[協力] LAZARIS-modeling agency, Beaumax
NPO法人 日本フォトセラピー協会 (JaPTA)



東京千代田区神田神保町3-4-1 九段下ビル3F 交通/東西線「九段下駅」J5出口1分・都営線「神保町駅」A2出口2分
運営管理/領域探査デザイン <http://www.ryouikitanza.com> tel 03-6662-5350 当日090-2442-9568

築80年 九段下テラス、廃墟に還る。 砂の器化計画。

2008.11.01 (sat) - 2008.12.31 (wed)

廃墟賃貸「九段下テラス」一面の砂の景。2.5tの砂とともに賃貸します。

領域探査デザイン 中古スケルトン賃貸普及プロジェクト

鹿庭江里子 写真展

感じるフォトグラフィア

80余年の歳月と戦禍や天災のトラウマを生き抜き
今は廃墟となった建築物に、熱と風によって生成された“砂”を
敷き詰めた空間でこの個展の企画は立ち上がった。

今回私のフォトグラフィアでは、被写体が植物であれ人物であれ
大地に根をはり、花を咲かせ、実を結び、朽ちていくという
植物のありようを人間に重ね合わせ、ともに同じく
“自然に生きるもの”としての表情とそのつながりを見出そうとしている。

空間に展示した作品は砂の上を裸足で閲覧し
目で見ただけではない、あらゆる感覚を総動員し
ココロとカラダ、全身で“観て”いただければ幸いである。

- 見る/聴く/触れる/嗅ぐ/味わう -

私を含め、来場して下さる方々が「今この瞬間、ここ」に存在していることを
あらゆる感覚をもって体感するための試みである。

この個性的な空間で、私にとっても実験的な写真展を開催することは大変感慨深いものであり、
これからの私の活動に大きな示唆を与えてくれるものと自ら期待している。
関係者の皆様方に心から深く感謝の意を表したい。

photographer ERIKO in Studio AIOWAN

Thanks

東京都出身。
TV制作会社で各キー局のドキュメンタリ番組やART系の
番組プロデュースに従事。写真を独学で学ぶ。
各メディア取材撮影、ビジネス、コンボジットポートレート、
CDジャケット、独自のアプローチを用いたセラピューティック
ポートレートを提供。



クライアントの内面の輝きを引き出す感性とテクニックは好評を得ている。
米国スリーインワン・コンセプト社認定コンサルタント・ファシリテーター
英国ロイヤル・フォトグラフィック・ソサエティ会員 日本フォトセラピー協会会員

Hirokazu Kaniwa Kazuhiro Ishii
Sumire Matsuda Tomoko Ino
Yukari Ogawa Aki Hirano
Noriko Shindo dearest Moe & Nao

Special Thanks

Laurent Stieger
(Car Racer, Studio AIOWAN 専属モデル)

* インナージャーニー・フォトセッション

ポートレート撮影や写真を見ることを介在し、クライアント (被写体) の内面の旅をサポートしながら
隠れた本質と輝きに気づくための、独自のアプローチを使ったポートレートフォトセッション。